

ドメイン名とネーミング

ドメインがインターネット上で企業、個人の所在を表す文字列であるために、ドメイン名(ドメイン取得)は明確な目的をもって考案されなければなりません。インターネットを事業の中核と考える起業はまずドメイン名を設定しなければなりません。ドメインを考案し、そのドメインが使用できるかを調べ取得し、ドメイン名と同じ社名で登記する。また、サイトのディレクトリマッピングによる組織設計から会社組織を作り上げてゆくべきでしょう。

日本企業の場合はブランド偏重の傾向が強いため、gTLDよりもco.jpを望みます。

ドメイン名考案の基本の基本

登録可能文字

- 3文字以上63文字以内

登録可能文字

- 半角英数字 (A~Z, 0~9)
- 半角のハイフン「-」

ハイフン「-」で始まる、又は終わるものは登録できない

その他の注意点

- 短くする
- ハイフンは使わない
- 0 と O の使用には注意する

- 1 と l の使用には注意する

- キーの打ち間違いを想定して良く似たドメインをとっておくのもよし

『名づけてねっと』は複数のドメインからのアクセスが可能

<http://www.nadukete.net/>

<http://www.nazukete.net/>

まとめ

提供するサービスのイメージとドメインの意味の整合性が高くユーザーが容易に推測でき、短く、打ち間違い等を起こさない文字列を考える。

ドメイン命名パターン

ドメイン名を考える場合、以下の4つのパターンに大別できると考えられます。これらのパターンから判断し、より目的に合致した名前づけが必要でしょう。

単純対応タイプ

登録簿上の社名や屋号、個人名とドメイン名が一致している場合。このタイプは最も理想的であるが、トップレベルドメインが本来の業務と整合性の低い場合は注意が必要である。(百貨店のサイトがnetを使う場合など)

<http://www.sony.co.jp/> ソニー

屋号・商標タイプ

一般によく知られている屋号や商標でドメイン名取得している場合。

本当によく知られている屋号・商標ならばこのさい社名変更してCIを確立すれば?

<http://www.kuronekoyamato.co.jp/> ヤマト運輸株式会社

複合語タイプ

目的のドメインが先取されているために複合した組み立てを行っている場合。

比較的多いパターンだが、こじつけになりやすく注意が必要。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/> 株式会社ポプラ(コンビニ)

思い込みタイプ

広く知られていると思い込んでいる文字列で取得。本当に広く知られている場合は、屋号・商標タイプとなる。

<http://www.0123.co.jp/>

<http://www.the0123.co.jp/> アート引越センター (アートコーポレーション株式会社)